

2025年2月

Kansai
Engineering
Administration
Committee

KEAC レビュー

オープン例会と2025年度例会開催予定

1961年設立
不定期発行
Vol.3

企画・制作：事務局長 河添 俊幸

オープン例会レビュー

2025年1月開催 第519回:オープン例会

【2024年度優秀賞】

『企画マインドを持った技術者集団へ』

株式会社河合楽器製作所（静岡県浜松市）

技術者集団の自主行動

企画マインドを持った技術者集団への取り組みについて、カナダ出張中の入村浩太郎氏より現地が深夜にもかかわらず、自身の経験を紹介いただく。VPC1の開発を通じて従来からの後継機種依存の壁を乗り越えるため、徹底的な越境（設計→プログラム→企画）と、各業務を体得して自主的な行動を取ったことを紹介。また、海外セールスマネージャーとの関係構築や新商品の企画における課題解決活動と、カワイの音で他の音響メーカーとコラボする取組についても触れている。

音響機器開発の課題

中西芳徳氏より音響機器開発における課題と解決策について説明された。人の壁を乗り越えるために、エンジニアの視点を理解し、データ drivenの開発環境を作り出すことの重要性を強調する。

また、ピアニストをペルソナとして設定し、評価グリッド法を用いて抽象的な音の表現を物理モデルに翻訳する過程を説明する。最後に、商品の魅力を伝えるために、外観デザインやストーリー作りの重要性を指摘し、開発者がカタログ作成にも携わることの意義を述べる。



【特別講演】

『人間の問いがAIの可能性を広げる—モノづくり with AI』

猿渡 義市 / Giichi Endo

株式会社 日南 | 取締役 デザイン/エンジニアリング
デビジョン統括本部長（神奈川県綾瀬市）

AIを活用したデザインプロセス

AIは素早くアイデアを生成できるが、本質的な問いや明確なビジョンが重要であると強調。また、AIは無限に生成できるため、デザイナーの役割は大量の選択肢から最適なものを選ぶことだと述べている。AIを効果的に使用するには、プロンプトを曖昧にして幅広いアイデアを生成し、自分の思考の外にあるものを探求することが重要だと紹介。

「AIガチャ」として、異なる乗り物の画像をAIに合成させて、アイデア出しが瞬時にできることが紹介された。

AIと地方創生の活用

AIを活用したフードデザインと地方創生プロジェクトについて紹介。AIを使用してラーメンのレシピを開発し視覚化する過程を、鯛の熟成肉をのせたラーメンレシピの事例から紹介がされた。さらに秋田県の地方創生に関するAIを活用したディスカッションプロセスを説明。このプロセスでは、AIが異なるバックグラウンドを持つ仮想的な参加者を生成し、多角的な視点からの議論を可能にしている。このアプローチが地方の課題解決や新しいアイデアの創出に有効であると紹介された。

懇親会では猿渡氏著書のサイン入り本「With AI」を賞品に、じゃんけん大会で盛り上がった。



猿渡 義市 著書：
「With AI—AIと創る
クリエイティブ超制作術」
2024/9/14

《2025年度の発表予定講師の著書と記事》

第520回 3/14(金)予定
オムロン株式会社 岡田 浩 氏



第521回 4/25(金)予定
日経BP社 木崎 健太郎 氏



日経ものづくり
2024.11月号
スタートアップが広
げる製造業DX

第523回 7/11(金)予定
日揮ホールディングス株式会社 佐藤 知一 氏



《2025年度の工場見学予定先》

第522回 6/18(水) 予定



DMG森精機株式会社（三重県伊賀市）

第524回 9/12(金) 予定



HILLTOP株式会社（京都府宇治市）

第525回 10月予定



高橋金属株式会社
（滋賀県長浜市）